

平成22年度

**教育に関する事務の管理及び執行
の状況の点検及び評価報告書**

(22年度事業対象)

岩舟町教育委員会

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の方針

岩舟町教育委員会

1. 趣旨

岩舟町教育委員会は、「教育委員会の主な具体的事務事業」の執行状況について点検及び評価を行い、当該年度における課題等を明らかにして見直しを図ることにより、今後の教育行政の効果的な進展に資する。

点検及び評価の結果は、報告書として取りまとめ岩舟町議会に報告するとともに、町民に公表することにより、開かれた教育行政を推進する。

2. 方法

- (1) 点検及び評価は、「岩舟町教育振興計画」に基づく「教育委員会の主な具体的事務事業」を評価項目とする。
- (2) 教育委員会は、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、「点検・評価に関する有識者」を委嘱する。
- (3) 点検及び評価は、当該年度の執行状況を内部評価した上で、学識経験者の意見を聴取する。
- (4) 教育委員会は、点検及び評価を行った後、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表する。

3. 点検評価項目

<教育委員会の主な具体的事務事業>

- (1) 教育委員会の責務の確認と積極的な活動の推進
- (2) 開かれた教育委員会の推進
- (3) 教育委員会事務局の所掌事務の明確化と適正な事務の執行
- (4) 学校の体制の研究と管理・指導
- (5) 教職員の適正な人事と研修の充実
- (6) 児童生徒の就学及び学校の組織編制の整備
- (7) 学校及び公共の施設等の整備と活用
- (8) 人権教育の推進
- (9) 家庭教育支援に係る諸事業の展開
- (10) 社会教育の振興に係る公民館活動等の積極的展開
- (11) 他機関・民間団体、地域住民等との連携・協力を図った教育・文化・スポーツに係る諸事業の推進

4. 点検及び評価のスケジュール

4月～12月 施策の進捗状況等のとりまとめと内部評価

1月～2月 教育評価委員からの意見聴取

2月 点検及び評価の報告書作成

3月 岩舟町議会へ報告
ホームページで公表

教育評価委員

前 田 英 雄	井 上 俊 男	中 里 幸 雄
---------	---------	---------

外部評価経過

回	日 程	時 間	内 容
1	1月12日(水)	午前10時～	・ 委嘱書交付 ・ 評価シート当日配布 ・ 評価の方法等について協議
2	1月21日(金)	午前9時30分～	・ 各課室ヒアリング (学校教育課、人権推進室、社会教育課)
3	2月 2日(水)	午後2時～	・ 外部評価のまとめ
4	3月 3日(木)	午前10時～	・ 岩舟町議会へ報告

平成22年度事務事業の点検評価シート

評価項目1	教育委員会の責務の確認と積極的な活動の推進
具体的目標	(1) 教育委員会の会議内容の充実に努める。 (2) 教育委員研修の充実に努める。 (3) 教育委員相互の情報交換と教育情報の収集に努める。
主な事業名	定例会、臨時会、各種研修会の参加、学校訪問、各種行事・大会への参加

取り組み状況	成果と課題
<p>(1) 教育委員会の会議内容の充実 教育委員会会議は、定例会、臨時会を開催した。議事録については、事前配布し、審議時間の確保を図った。また、定例会を2回、学校（小野寺北、南）で開催し、給食の試食、授業参観、学校経営方針の研修などを合わせて実施した。</p> <p>(2) 教育委員研修の充実 関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会、栃木県連合会研修、下都賀地区連合会定例の委員研修に積極的に参加し研修を深めた。</p> <p>(3) 教育委員相互の情報交換と教育情報の収集 教育委員の情報収集及び相互の情報交換を通して、定例会における審議の充実が図られてきた。</p>	<p>○教育委員会議の工夫改善により能率的に運営できるようになり審議時間の確保が図られた。</p> <p>○学校訪問を増やしたことにより、学校の様子がより良く把握ができた。</p> <p>○委員研修での情報交換や課題研修を通して多くの情報が得られ知見を広められた。</p> <p>○委員会での審議内容が活発化されてきた。</p> <p>●事務局からの更なる情報提供が必要である。</p>

外部評価
<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員の学校訪問は、学校の状況を把握するためには大変よいことであり、訪問回数を増やしたことは評価したい。今後は、学校だけではなく、町の教育施設（適応指導教室等）の訪問による実情把握を望みたい。 ・教育委員会の活動について、ホームページだけでなく町広報誌等にも定期的に掲載することを望みたい。

平成22年度事務事業の点検評価シート

評価項目2	開かれた教育委員会の推進
具体的目標	(1) 教育委員会の積極的公開に努める。 (2) 教育委員会からの積極的情報提供の推進に努める。
主な事業名	町公式ホームページ上での情報提供 教育委員会要覧の作成配布

取り組み状況	成果と課題
<p>(1) 教育委員会の積極的公開</p> <p>毎月、定例教育委員会の開催日程をホームページへ掲載してきた。</p> <p>(2) 教育委員会からの積極的情報提供の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ上で教育委員会のお知らせコーナーを設け積極的に情報の発信に努めてきた。発信内容は、次のとおり。 ①教育委員会の概要(教育委員会制度、教育委員名簿、教育委員会の仕事) ②教育委員会定例会のお知らせ ③岩舟町のこれからの教育について(教育長) ④岩舟町教育振興計画 ⑤教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書 ・年度当初に教育委員会要覧を作成配布し教育委員会の事務事業等の情報提供に努めてきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ●議事録については、個人情報に関わるものを除き公開に向けて検討中である。 ●開かれた教育委員会を目指し、更に分かり易い情報提供に努めていきたい。

外部評価
<ul style="list-style-type: none"> ・定例の教育委員会開催日程はホームページに掲載されているが、町民の教育に対する関心を高める観点から教育委員会の議事録(個人情報に関わるものは除く)をホームページに掲載することも検討していただきたい。

平成22年度事務事業の点検評価シート

評価項目3	教育委員会事務局の所掌事務の明確化と適正な事務の執行
具体的目標	(1) 所掌事務の明確化を図る。 (2) 適正な事務の執行に努める。
主な事業名	岩舟町教育振興計画の策定、主な施策の実施と課題への対応の実施工程表の作成

取り組み状況	成果と課題
<p>(1) 所掌事務の明確化</p> <p>事務局の所掌事務については、岩舟町教育委員会事務局組織規程に基づき執行している。</p> <p>年度当初に職務を分担し、事務分担表を作成し、担当長制度により、適正かつ効率的な執行に努めている。</p> <p>(2) 適正な事務の執行に努める。</p> <p>岩舟町教育振興計画及び平成22年度教育委員会スタートに当たって（教育長訓示）を踏まえて、具体的実践内容を「主な施策の実施」、「課題と対応について」、「課題事項及び主な施策の工程表」を作成し計画的に執行してきた。</p>	<p>○担当長制度より各担当間の相互協力支援関係が構築され効率的な事務執行が図れた。</p> <p>○「課題事項及び主な施策・事業の工程表」により各職員は自他の職務の進捗状況が把握できてより効率的な取り組みが図れた。</p>

外部評価
<p>・事務事業の取組について、担当ごとに工程表を作成して事務を進めていることは、見直しをもって事業を進める点からも、活動内容が担当以外の者にもわかるという点からも高く評価したい。さらに、事務分担表をホームページ等で公開すると住民にも事業内容や担当者がわかるので、このことも検討していただきたい。</p>

平成22年度 事務事業の点検評価シート

評価項目 4	学校の制度・体制の研究と管理・指導
具体的目標	(1) 町内小中学校の学校経営充実に向けた指導と支援に努める。 (2) 町内幼保小中学校教育の連携強化を指導・支援する。 (3) 家庭・学校・地域・行政が一体となって取り組む教育を推進する。
主な事業名	①町教育振興計画の作成・啓発、町教育行政・人権行政・学校教育推進計画の作成と実施 ②町内幼保小中連携会議の実施と幼保小中交流事業の展開 ③小中学校ジョイントプログラム事業の推進 ④学校・地域ボランティアとの連携推進と育成・支援 ⑤教育環境整備に係る事業の推進

取り組み状況	成果と課題
<p>(1) 町内小中学校の学校経営充実に向けた指導と支援 教育行政方針、町教育振興計画、人権教育計画・学校教育推進計画等を作成し、学校経営の充実に向け校長会や学校訪問等により周知を図った。また、学校評価の具体的な実施方法について検討し、評価結果を活用しての実態把握に努めることにより、より充実した教育の実現に向け適切な支援を行った。</p> <p>(2) 町内幼保小中学校教育の連携強化を指導・支援 教務主任会や教育研究委員会等で、ジョイントプログラム推進事業の内容を分担し、小中・小小学校交流、小中教員交流事業、幼児児童生徒の進学に係る情報交換会等の計画と実施に向けた指導・支援により、町内幼保小中学校教育の連携強化を図った。</p> <p>(3) 家庭・学校・地域・行政が一体となって取り組む教育の推進 地域ボランティア、学校安全ボランティア、町芸術の里づくり事業(ようこそ先輩課外授業等)支援、家庭教育学級・学校支援員、青少年育成町民会議関係者等の効果的な活用に向け、各事業の推進・支援に努めた。 また、学校評議員制度や学校関係者評価が有効に機能するよう、実施方法の検討と支援を行った。 教育環境整備の事業についても、積極的に整備し効果的な推進を図った。</p>	<p>○各学校の経営方針の中に町の教育方針が生かされたことで、課題が共有化され円滑な学校経営がなされた。</p> <p>○学校評価については、目標達成状況の適切な把握とより効果的な活用、改善に向けた組織的取組が行われた。</p> <p>○小中・小小交流における体験活動の充実により、児童生徒のコミュニケーション力の向上や小中間の段差の緩和を推進することができた。</p> <p>○小中教員交流事業や情報交換会では、教員の教育観や指導法の段差の緩和による指導力の向上や配慮児童生徒への支援の在り方の共有化を図ることができた。 ・家庭・学校・地域・行政が一体となって取り組むことにより、地域の実態にあった特色ある充実した学校づくりを行うことができた。</p> <p>○教育環境整備の推進は、教育にけるICT化(教育用ネットワーク整備等)、エコ環境整備(太陽光発電)を計画的に推進してきた。</p> <p>●充実した教育環境整備を目指し、各学校と協力しながらさらなる整備充実に努めたい。</p>

外部評価
<ul style="list-style-type: none"> ・小中交流事業は、幼保小中学校教育の連携強化という点で、大変意義のある事業である。 ・ようこそ先輩課外授業については、高く評価している。子どもたちに「生きる力」「郷土愛」を育てるためには必要な事業であるので、今後とも継続を望みたい。 ・スクールガードの活動は、地域、保護者の意志疎通が重要であるので、今後とも自治会等に働きかけ一層緊密な連携を図っていただきたい。

平成22年度事務事業の点検評価シート

評価項目5	教職員の適正な人事と研修の充実
具体的目標	(1) 教職員の適正な人事とその活用に努める。 (2) 教職員個々の育成及び組織としての活性化に向けた指導と支援に努める。
主な事業名	①教職員に係る適正な情報の収集と適切な指導・評価の実施 ②教職員の適正な人事配置の研究・実施 ③教職員としての個々の資質能力向上への指導と支援に係る事業の展開 ④組織としての学校力向上への指導と支援の機会と場の設定・実施

取り組み状況	成果と課題
<p>(1) 教職員の適正な人事とその活用</p> <p>教職員に係る人事評価制度の履行及び校長会、学校訪問等により、適正な情報収集と指導を進めた。 また、学校力アップに努めた人事異動の結果の検証と課題の確認に努めた。 昨年度より、学校栄養教諭が町内1名で、多忙を極めているため町費による食育指導管理栄養士を配置することとした。</p> <p>(2) 教職員個々の育成及び組織としての活性化に向けた指導と支援</p> <p>学校訪問での学校課題への取組方法やその成果と課題の把握・指導、授業研究会による教職員個々への指導・助言、教育研究委員会での各学校の課題への取組方法やその成果と課題の情報交換等を行うことにより、教職員個々の指導力の向上及び学校組織の活性化に努めた。特に今年度は、県指定の学校応援チーム派遣事業を町として受け、全小中学校で共通課題を設定し授業研究会を中心に、先生方の授業力と児童生徒の思考力・判断力の向上に取り組んだ。 また、外国語活動研究委員会の設置と計画的な研修会の実施など、新教育課程への円滑な移行に必要な条件整備、全国学力・学習状況調査の結果分析と課題改善に向けた指導体制確立への支援により教職員の指導力の向上を図った。</p>	<p>○教職員個々に係る情報は勿論、学校組織の状況も的確にとらえられた。</p> <p>●今後も、町教育のビジョン実現に向け、バランスのとれた学校運営組織の構築に努めていくことが大切である。</p> <p>○昨年度より食育指導管理栄養士を配置したことにより、食育指導がスムーズに行われ、内容が深まった。</p> <p>●小規模校の教職員の構成や中学校の学級減に伴う教職員の減少の伴う問題などの課題解決に向け、対応しなければならない。</p> <p>○学校訪問により、意図的・計画的に各学校の実態把握と学校課題への取組方法やその成果の確認、課題改善に向けた指導を行うことができた。特に、学校応援チーム派遣事業では、各学校とも言語活動の充実や学習意欲の向上を中心とした授業改善に取り組み、各学校の授業研究会にお互いに参加することで、先生方の授業力向上に役立てることができた。また、授業リフレクションによる授業研究会の進め方の講話なども校内研修の活性化に有効であった。</p> <p>○ALTの配置(平成21年度より町として1名増)や小学校外国語活動研究委員会の運営、各学校における授業研究会の実施等により、外国語活動授業の具体的な指導イメージづくりを行うことができた。</p> <p>●平成23年度からの新教育課程全面実施に向け、引き続き教職員の指導力向上や教育環境整備等、条件整備を支援しなければならない。</p>

外部評価
<ul style="list-style-type: none"> ・県指定の学校応援チーム派遣事業を町として積極的に受け入れ、授業研究を中心に推進していることは、教員の資質向上につながることであるので評価したい。 ・本町では、バランスのとれた学校運営ができています。

平成22年度事務事業の点検評価シート

評価項目 6	児童生徒の就学及び学校の組織編成の整備
具体的目標	(1) 町内就学児童生徒の実態・状況に応じた適切な教育の推進に努める。 (2) 学校が組織的に機能するように適正な学級組織等の編成に努める。
主な事業名	①就学(幼保小中)児童生徒の確実な情報把握 ②適切な町教育計画の策定と実施(各学校の特色あるカリキュラム、特別支援教育計画、問題を持つ子への対応) ③学校評価の適正な実施と活用

取り組み状況	成果と課題
<p>(1) 町内就学児童生徒の実態・状況に応じた適切な教育の推進</p> <p>町健康福祉課と連携し、3歳児検診や5歳児検診及び就学時健康診断などを通して、入学前の子どもたちの継続的な状況把握に努めている。特に今年度からは、5歳児のびのび発達相談にも参加することで、関係機関との連携強化に努めている。</p> <p>また、個々の特性にあった学習の場が提供できるよう、就学指導委員会を設置して事案ごとに検討を重ねているが、昨年度からは、入級対象でない児童の数名に対しても就学前教育相談を実施している。</p> <p>さらに、スクールカウンセラーや教育相談員を配置し、不登校児童に対する相談や教職員の抱えている問題に対するアドバイスなど、きめ細やかな対応をしている。</p>	<p>○入級対象でない児童に対する就学前教育相談やのびのび発達相談への参加等、教育相談体制の充実により、保護者の不安軽減や特別支援教育に対する啓発に役立った。そして、学校と保護者間の信頼関係を深めることができた。子どもたちの特性に応じた環境、機会の提供にも役立てることができた。</p> <p>●課題としては、特別支援教育に対する保護者の十分な理解が難しいケースがあるので、子どもの成長と困り感の軽減を中心に、今後とも継続的な話し合いや支援が必要である。</p>
<p>(2) 学校が組織的に機能するような適正な学級組織等の編成</p> <p>学校訪問や校長会、児童生徒指導委員会等による情報交換、諸調査の実施により、各学校の児童生徒の実態把握と指導・支援に努めている。また、県費による教職員の加配等による配置は勿論、必要に応じて町費による非常勤講師や学校支援員を配置するなどして、より充実した教育の実現を目指した学級編成を進めている。</p>	<p>○学校訪問や校長会、児童生徒指導委員会等による情報を適切に把握することで、問題発生に対して適切に対応・指導することができた。</p> <p>○加配教員を配置することで、個に応じたより充実した指導を実現するための体制づくりを、支援することができた。</p>

外部評価
<p>・各学校の特別支援学級担任は、通常学級担任との連携ができており、孤立しないで取り組んでいるということはよいことである。また、特別支援教育に対する保護者の理解が難しいケースがあるということであるが、今後とも継続的な話し合いや支援をしていただきたい。</p>

平成22年度事務事業の点検評価シート

評価項目 7	学校及び公共の施設等の整備と活用
具体的目標	(1) 小・中学校の耐震化を計画的に促進する。 (2) 学校環境整備計画を策定し、各学校の改修等を計画的に行う。
主な事業名	① 岩舟中学校体育館耐震補強工事 ②小野寺南小学校地盤補正工事 ③ 学校施設整備・修繕事業 ④中学校施設整備・修繕事業

取り組み状況	成果と課題
<p>(1) 小・中学校耐震化の計画的促進</p> <p>岩舟中学校の体育館は、国の耐震基準を満たしておらず、補強が必要であるため、耐震補強工事を実施した。</p> <p>(2) 学校環境整備計画の策定、改修等の計画的推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活の安全を確保するため、小野寺南小学校地盤補正工事を行った。 ・各学校施設は、いずれも竣工後、20年以上を経過し、各所に不具合が生じている。大規模な改修等は、厳しい財政状況のため早急にできないが、小規模な改修・修繕等については、当初予算編成時に各学校からの要望を取りまとめ、予算が確保できた段階で年間の整備計画を立て、緊急を要するものから優先順位をつけて行っている。 	<p>○岩舟中学校体育館耐震補強工事が完了し、生徒や教職員の安全性がより高まった。工期に関しては、生徒の学校生活により支障が生じない時期に行い、学校との連絡を密にして工事が行われた。</p> <p>○小野寺南小学校地盤補正工事が完了し、学習環境の安全性が向上した。</p> <p>○工事は、できるだけ学校活動に影響が生じないように配慮し、施工した。</p> <p>●各学校とも、老朽化により大規模な改修を必要としているが、財源が確保できず、改修計画が立てられないことが今後の課題である。</p>

外部評価
<ul style="list-style-type: none"> ・施設整備・修繕については、学校事故未然防止の観点から、長期的な整備計画を作成し進めていただきたい。 ・教育用ネットワークについては、学校事務の効率化等の観点からも是非進めていただきたい。 ・学校施設の耐震化の取り組みについては、高く評価したい。

平成22年度事務事業の点検評価シート

評価項目 8	人権教育の推進
具体的目標	(1) 集会所事業の推進に努める。 (2) 学社連携事業の推進に努める。
主な事業名	・集会所運営委員会の開催 ・下津原・西根南集会所教室の開催 ・人権教育担当者会議の開催、人権ポスター・標語コンクールの実施

取り組み状況	成果と課題
<p>(1) 集会所事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集会所は基本的人権が尊重される社会の実現を目指し、人権教育啓発の推進、福祉の増進、地域交流活動の推進を図るため町内2か所に設置し、管理運営を行っている。 ・集会所の企画及び運営に関し、集会所運営委員会を設置し事業の実施前・後に開催し各事業の内容について検討し町民へのチラシやホームページにより参加者を募った。 ・下津原集会所で6講座（料理教室、絵画教室、カラオケ教室、卓球教室、健康づくり教室、1日ふれあい教室）、西根南集会所で5講座（カラオケ教室、ふれあい教室、健康づくり教室、卓球教室、1日ふれあい教室）を開催した。 <p>(2) 学社連携事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学校の人権担当の先生による人権教育担当者会議を開催し人権教育推進事業実施のための検討を行った。 ・人権ポスター・標語を各学校で取り組み、表彰すると共に、人権週間や人権講演会、人権カレンダー等の啓発活動に活用した。 ・各学校において人権擁護委員による人権の花運動、人権講話・映画会、人権作文、習字、原画コンテストや人権講演会を開催し、児童生徒への啓発活動を行った。 	<p>○教室参加者が、ふれあい学びあいながら人権意識の高揚が図られた。</p> <p>●集会所を町民に開放する1日ふれあい教室を行い、参加者は徐々に増えている状況であるが、利用方法や地域への周知方法が今後の課題である。</p> <p>○各人権教育・啓発事業により児童生徒の人権感覚の醸成が図られた。</p> <p>●学校や児童生徒へ負担がかからない方法での実施が今後の課題である。</p>

外部評価
<ul style="list-style-type: none"> ・集会所事業については、運営委員会で検討され各講座の充実が図られている。また、地域住民の交流等の場としても広く利用されており、今後とも施設整備と運営に努められたい。 ・町内の児童生徒による人権ポスター、標語の作品が掲載された人権カレンダーが作られ、学校等で利用されているが、町内の人権啓発やカレンダーとしても活用するよう、町内各戸への配布をしていただきたい。

平成22年度事務事業の点検評価シート

評価項目 9	家庭教育支援に係る諸事業の展開
具体的目標	(1)家庭教育事業の充実に努める。 (2)家庭教育支援の充実に努める。 (3)県主催による家庭教育指導者養成研修会等への派遣に努める。
主な事業名	・小学校家庭教育学級（4校） ・中学校家庭教育学級 ・就学时健診を活用した子育て・親育ち講座（4校）

取り組み状況	成果と課題
<p>(1) 家庭教育事業の充実</p> <p>各小学校、中学校において、家庭教育（親やこれに準ずる人が子供に対して行う教育）、家庭教育学級（親やこれに準ずる人の「学びの機会」）がもつところの意義を認識し、参加型学習を取入れ子どものかかわり方についての学習機会の提供に努めた。また、プログラムの企画及び運営においては、学校・PTA・家庭教育支援チームが連携しこれにあたった。</p> <p>(2) 家庭教育支援の充実</p> <p>家庭教育に関する情報の提供や親学習プログラム指導者研修終了者で組織された家庭教育支援チームと学校との連携による家庭教育推進への支援に努めた。</p> <p>(3) 県主催による家庭教育指導者養成研修会等への派遣</p> <p>県主催による家庭教育指導者養成研修会、家庭教育オピニオンリーダー研修会、親学習プログラム指導者研修会への派遣に努めた。</p>	<p>○ 家庭教育学級では、保護者と子どもが時間を共有することで、子供を見つめる貴重な時間を提供できた。</p> <p>○ 親学習では、子どもとの関係について話し合い、共感し、気づくことを体験し、明日へ生かすことを学ぶとともに、保護者のネットワークづくりができた。</p> <p>○ 終了時の参加者感想には、次のような記載が多くみられた。 「参加型研修により、普段何気なく子どもに使っている言葉を自分が使われることを体験し、子どもが傷ついていることに気づき、子どもを受容することの大切さに気付いた。」など。</p> <p>○ 家庭教育支援チームの活躍機会の提供や学校の特性を生かし多くの保護者を対象に家庭教育に取り組めた。</p> <p>● 家庭教育学級受講後の自主活動への呼び掛けや支援の在り方について充実させたい。</p> <p>● 県主催の家庭教育指導者養成研修会に2名を派遣したが、受講終了者との連携事業の拡充に努めたい。</p>

外部評価
<p>・家庭教育は、教育の原点である。その基盤となる、家庭教育支援事業の充実はさらに強く求められる。事業参加者から「参加してよかった。」と評価される内容となるよう、事業内容の研究・開発に研鑽されたい。</p> <p>・家庭教育の推進において、胎児の段階から生後1歳児になるまでの時期、さらには就学するまでの時期へ対象を拡大し取り組むことが必要である。このような視点から、町行政をはじめ、関係機関、施設との連携による、総合的な事業の推進に努められたい。</p>

平成22年度事務事業の点検評価シート

評価項目 10	社会教育の振興に係る公民館活動等の積極的展開
具体的目標	(1) 公民館事業の充実に努める。 (2) 文化会館での芸術文化の提供及び参加創造型事業の充実に努める。
主な事業名	公民館事業 ・幼児学級(1講座) ・高齢者教室(3箇所 3講座) ・パソコン講座(エクセル、ワード、デジカメ、年賀状作成) ・火曜パソコン塾(第2・4火曜日) ・図書室おはなし会(幼児、低学年対象 第2・4土曜日) ・一般教養2講座(裁判員制度、悪質商法) ・フラワーデザイン教室 ・そば打ち教室 文化会館 ・クラシック・歌謡・落語・映画の提供、マラソンプiano・地域住民参加の演奏会の実施。

取り組み状況	成果と課題
<p>(1) 公民館事業の充実</p> <p>社会教育法に基づいて、地域住民における生涯学習の拠点施設としての役割を果たすため、講座の開設、講習会の開催をはじめ、生涯各期における学習内容を検討企画し各関係機関との連携を図りながら、多様な学習機会提供に努めた。</p> <p>(2) 文化会館での芸術文化の提供、参加創造型事業の充実</p> <p>クラシック音楽ホールとしての特徴を生かしながら、地域の芸術文化の拠点として、広く文化関連事業を展開した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域住民の要請に応じ講座内容に努めたが、参加者数は10月末日現在、7講座、36回を実施し延べ628人であった。今後、より多くの地域住民の参加を得るため、内容の精査及び周知方法について更なる創意・工夫が必要である。 ● 地域住民の学習機会及び学習情報の提供は、住民の要請を的確につかみ推進にあたらなければならない。 ● まちづくりの観点から、奉仕活動の推進を図るうえで、ボランティア養成に関する取り組みに努めたい。 <ul style="list-style-type: none"> ○自主事業を通して、住民の文化意識の向上が図られた。 ○施設の老朽化に伴い、絨毯の張替え・非常照明器具の改修を行った。 ○住民の利便性を考慮し、正面入口扉の自動ドア化が終了し、現在、外構改修工事を実施中であるが、年度内終了を目指している。

外部評価
<ul style="list-style-type: none"> ・公民館事業の推進においては、住民のニーズを的確に捉え、それに応えられる企画を行うこと、さらには住民への周知方法に創意・工夫をするなど、多くの住民の参加が得られるよう対策を講じられたい。 ・公民館事業など、住民への周知に関しては、年間プログラム案内やチラシの作成において、すべての人びとが見て分かり易い内容となるよう配慮されたい。 ・ボランティアの発掘に努められたい。 ・文化会館の自主事業について、集客に努められたい。(内容の精査、プレイガイドの検討)

平成22年度事務事業の点検評価シート

評価項目 1 1	他機関・民間団体・地域住民等との連携・協力を図った教育・文化・スポーツに係る諸事業の推進
具体的目標	(1) 生涯学習推進事業の充実に努める。 (2) 生涯スポーツ事業の充実に努める。
主な事業名	<ul style="list-style-type: none"> ・ ようこそ先輩課外授業・芸術祭・アートインレジデンスの実施、天地総子公演会の実施、生涯学習講演会の開催 ・ スポーツまつり・健康マラソン大会・駅伝競走大会等を開催 ・ 総合型地域スポーツクラブ（いわふねスポーツクラブ）の設立 ・ スポーツ指導者養成講習会の実施

取り組み状況	成果と課題
<p>(1) 生涯学習推進事業の充実</p> <p>芸術の里づくり事業を住民との協働により実施し、ようこそ先輩課外授業（町出身の著名人を小学校に招き、芸術の素晴らしさを伝える授業）を行った。また、芸術祭（住民参加によるベートーヴェン第九合唱や幅広いジャンルのコンサートなど）を行った。アートインレジデンス（住民と芸術家が触れ合う機会）を提供すると共に、住民が主体的に創作活動を行える環境を整えた。また、天地総子公演会（朗読と歌で綴る家族の物語）を開催した。</p> <p>生涯学習講演会を開催し、相互の連携協力の必要性や役割の推進を図る。</p> <p>(2) 生涯スポーツ事業の充実</p> <p>町民のスポーツ人口の拡大と生涯スポーツ振興を図ると共に、体育協会主催で、スポーツまつり（雨天中止）・健康マラソン大会・駅伝競走大会等を開催した。</p> <p>町民一スポーツの実現のため、総合型地域スポーツクラブの設立に向けて、設立準備委員会による様々なスポーツ教室やイベントを実施し、住民への普及啓発を行った。</p> <p>町内のスポーツ指導者を対象にしたスポーツ指導者養成講習会を実施した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ようこそ先輩課外授業では、生徒児童に芸術への感動と喜びを与えた。 ○ 芸術祭では、多くの住民に、多様な文化・芸術を身近に感じていただき、岩舟町の生んだ芸術家や住民主体による第九合唱に取組む人の多さを認識してもらい、さらに芸術の感動を与えた。 ○ レジデンスでは、陶芸と型染に真剣に取り組む意識が高まった。 ○ 天地総子公演会では、聴衆の感動を呼び、新たな家族愛や思いやりの大切さを伝えた。 ○ 生涯学習講演会を通して、家庭・学校・地域が連携した社会力を図るために、大人がどう係るべきかを考える良い機会となった。 ● 今後、各事業のさらなる充実が必要である。 ○ 日頃スポーツに親しんでいる人や、親しむ事の少ない人にも、スポーツの楽しさを提供できた。 ○ 総合型地域スポーツクラブは、平成23年3月設立に向け、各種教室やイベントを実施することにより、クラブ員の増加や各種教室の定着が図られ、住民の認知度が上がった。 ○ スポーツ指導者養成講習会では、子どもの発達段階に応じた指導方法や練習方法を提供できた。

外部評価
<ul style="list-style-type: none"> ・ 芸術の里づくり事業において、「ようこそ先輩課外授業」の取り組みは、児童・生徒にとって母校への誇りをもつ心、将来に向かい夢を育む心の醸成を図るうえで有効であるので、事業の継続を望む。 ・ 総合型地域スポーツクラブは、今後、住民がスポーツに親しむことができる環境づくりのため、その設立に強く期待したい。